

# 全日本

## 女子学生

# 3位

# 唯一無二の

# 輝き放す

## 岡本唯衣

第17号	
女子選手特集	
4面	1面
硬式庭球部	ウエイトリフティング部
合気道部	陸上競技部
硬式野球部	
2・3面	
ボウリング部	空手道部
硬式野球部	ライフル射撃部
サッカー部	ボクシング部
他	

第15回西日本学生女子WL選手権大会

7月2日-3日 はびきのコロセラム

「第62回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」  
男子69kg級 4位 北田 翔平(経済3年・板野高)

「第28回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会」  
女子58kg級 3位 岡本 唯衣(公営2年・板野高)

「第32回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」

56kg級	優勝	東野 凌大(公営1年・徳島科学技術高)
62kg級	優勝	岡田 樹(公営2年・徳島科学技術高)
62kg級	準優勝	脇田 勇平(公営2年・薩摩中央高)
77kg級	準優勝	土本 貴大(経営3年・土岐商業高)
77kg級	3位	北田 翔平(経済3年・板野高)
94kg級	優勝	須藤 匠海(公営2年・海洋高)
105kg級	準優勝	山本 峻介(経済4年・上天草高)

「第55回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」

男子団体I部	3位	
男子56kg級	準優勝	守安 暁紀(公営3年・倉敷工業高)
男子56kg級	3位	東野 凌大(公営1年・徳島科学技術高)
男子69kg級	3位	北田 翔平(経済3年・板野高)
男子77kg級	3位	土本 貴大(経営3年・土岐商業高)

「第15回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会」

女子団体	5位	
女子58kg級	4位	岡本 唯衣(公営2年・板野高)



2年連続で全日本女子学生3位となった岡本唯衣。最も光り輝くメダルに届かず、悔しい思いをした。東京オリピック出場が目標の彼女だが、世界との差を痛感している。それでも日々、体づくりに励み克己心を高めている。負けるなユイ！ 頑張れユイ！

### 紅一点

大商大ウエイトリフティング部17人のうち唯一の女子選手、岡本唯衣(公営2年・板野高)。周りが男ばかりの環境の中で1年がたった。この環境は高校時代からです。すっかり慣れてきている様子。岡本だが、練習は男子と同様に行われており、特別違ったメニューをするわけではない。いい意味で男女の壁がない部活だ。

岡本は休みの日も自主練習を欠かさない。学内のウエイトリフティング場やトレーニングルームを利用し、寮でもトレーニングを行い、ほぼ毎日ウエイトリフティング競技のために自己を高めている。

### きっかけ

元々スリリング競技がしたかった岡本だが、通っていた中学校にスリリング部はなく、兄の影響でやっていたバレーボール競技も中学2年生の時にやめ、それから大好きな筋力トレーニングに励んだ。そもそもウエイトリフティング競技を始めたのは高校1年生の時、大商大には合宿でよく来ていたという。大商大

### 狭き道

憧れの選手は、三宅宏実選手。三宅選手とは、高校2年生の時、全国のエリート選手が集まる合宿で出会った。4年前、ロンドンオリンピックで三宅選手が女子48kg級で銀メダルを取ったことにより、女子の競技人口が増え、勝ち進むのも難しくなっていた。

前年度の全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会で3位だった岡本。今年度、スナッチでは自己ベストまであと1kgに迫る73kgを挙げ、クリーン&ジャークでは前年度より3kg増の88kgを挙げたが、自己ベストの95kgには程遠かった。得意のクリーン&ジャークで結果を伸ばせず、今年度も悔しい3位となった。

競技歴が短い選手もどんどん上位に入ってきたり、女子58kg級の記録が大幅に上がったりと、年々レベルが高くなってきている。常に気持ちを集ませてもらわなければならない。今までのやり方だけでは勝てないと感じ、永松誠コーチ(大商大OB)からの指導で食事を見直し、体づくりに取り組むようになった。お菓子をやめ、栄養バランスの取れた食事に変えたことで、岡本は「余分な脂肪が減った。筋張った体になってきた」と自身の体の変化を感じている。

### オリンピック

岡本が大商大を卒業する2年後の2020年に東京オリンピックが開催される。全日本女子学生3位、関西女王などの記録を残してきた岡本だが、オリンピックに出場するためには、学生チャンピオンになることが先決だと自分に甘んじることがなく、向上心をあらわにする。

辛いことや苦しいことがあっても、ウエイトリフティング競技を続けていけるのは、勝ったときに喜んでくれる母親の存在があるからだ。地元の徳島県で頑張っている母親に結果で恩返ししたいという愛情こそが、岡本を初心に帰らせ、闘志を奮い立たせる。岡本が東京オリンピックの大舞台で、選手として唯一無二の輝きを放つ日が待ち遠しい。

大阪商業大学体育会本部  
ツイート 542

236 フォロワー 255 フォロワー

大阪商業大学体育会本部 @Taikukaihonbu... 23秒

広報部の女子部員です  
全クラブの応援を目標にしていますので、来て欲しいクラブがあればご連絡ください！いつでも駆けつけます！

Twitter アカウント フォローしてね  
大阪商業大学体育会本部 @Taikukaihonbu

ガンバレ

聞え!商大! メールマガジン 会員募集中

シーズン中、各クラブの試合予定・試合結果を週1で配信。登録してね!

大阪商業大学スポーツセンター

# 西日本

## 男子団体I部

# 1大会ぶり!



第55回西日本学生WL選手権大会  
7月1日~3日 はびきのコロセラム

# 3位

「みんな予想通りの試合展開ができた。3位になれてうれし」と主務の守安暁紀(公営3年・倉敷工業高)は高揚した様子で語った。

7月1日から3日にかけて行われた西日本学生ウエイトリフティング選手権大会で、大商大は1大会ぶりに表彰台に上がった。各階級に優勝者はいないものの、自己ベストを更新する選手が多数出た。一人一人の不屈の精神で勝ち点を積み上げていったからこそ取れた男子団体I部3位となった。

この勢いを保ち続け、文/井戸垣恭子(経営3年・鳥取商業高)

大は1大会ぶりに表彰台に上がった。各階級に優勝者はいないものの、自己ベストを更新する選手が多数出た。一人一人の不屈の精神で勝ち点を積み上げていったからこそ取れた男子団体I部3位となった。

れば、12月の関西インカレは、もちろん、来年度の西日本インカレもこれ以上の結果が期待できそう。大商大は胸にパーペルはもちろん気持ちも上げていってほしい。



咲き誇れ!

# 大商大ルーキーズ

# 素顔に迫った 女子会トーク



不屈の努力家

**成田 美樹**

硬式庭球部

商1年

扇町総合高校卒

大阪府出身

元気が源

リュウ ティン  
**劉 婷**

合気道部

経済3年

ECC国際外語

専門学校卒

中国・瀋陽市出身

絶やさぬ笑顔

**今村 未佳**

陸上競技部

商1年

浜松商業高校卒

静岡県出身

## 自己紹介

まずは中学2年生から陸上をしている**今村未佳**さん！そして小学5年生から硬式テニス続けている**成田美樹**さん！

最後はなんと中国留學生の**劉婷**さん！彼女たちは、私たちの突っ込んだ質問にも女子選手ならではの爽やかな笑顔で答えてくれた。

## 入部理由

始めに入部理由と、マネージャーではなく選手を選んだ理由を尋ねると、**今村**中学からハードルをやっていたし、見ていると走りたくなる、**成田**「テニスを続けたかったし、友達をつくりたかった。見るよりも自分が参加したい」と返ってきた。中でもインパクト大の回答は、**劉**名探偵コナンの毛利蘭や毛利小五郎に憧れて、テコンドーを始め、来日してからは空手道、柔道をやってみたが、自分に合わなかったから合気道を選んだとのこと。誰かに影響されて部活動を始めるとは意外と多いのかも。

## 部活の目標

続いて部活動での目標を聞くと、**今村**「大学受験の間に体が鈍ったので、まずは体力づくり。そして全日本インカレの標準記録突破」力強く答えてくれた。**成田**「先輩が教えてくれるフォームの習得。リーグ戦では少しで

五月晴れの日、新入生の体育会系クラブ女子選手3人を座談会にご招待した。皆さんのおのの大学にも慣れてきて、大いに学生生活を満喫している様子。部活動だけでなく、私生活での素顔も見られ、女子会トークに花が咲いた。

## 女子あるある

話を聞いていると女子が優遇されている事実が分かってきた笑**今村**「ボールかごなどの重い荷物は男子が持つてくれる、**成田**「事前準備をすべて男子が率先してやってくれるらしい。」

## 部活の魅力

魅力は一言では尽きないが、**今村**と**成田**は「多くの人たちと関わりを持てるし、部員同士も仲が良い」と良さを語ってくれた。そして**劉**は合気道は日本らしい武道、相手を倒すのではなく相手を尊敬しながら技をかけること、というパーフェクトな回答で感心した。

## 恋愛観

女子は恋愛観が好き！彼氏がいるかを聞き出すと**今村**と**成田**は「彼氏が

## 秋の女子団体戦

# 初出場へ!!



奥から  
山本 沙季  
(商4年・豊島高)  
西村 実果  
(経営3年・摂津高)  
吉村 実久  
(公営2年・大阪ビジネスフロンティア高)  
成田 美樹  
(商1年・扇町総合高)

## 硬式庭球部

大商大硬式庭球部が創部以来初となる女子団体戦出場に向けて本格始動だ。関西大学対抗テニスリーグ戦は秋に開幕するが、女子選手4人で春から厳しい練習に励んでいる。「出場するからにはいい試合ができるよう全力で頑張る。4部昇格を目指す」と吉村実久(公営2年・大阪ビジネスフロンティア高)が意気込みを語ってくれた。試合では人数が少ない分、選手1人当たりの試合回数が多くなり、体力面で不利になる不安がある。だが、団体戦では一緒に戦い、近くで応援してくれる仲間がいるから心強く、普段以上の力で戦える。頑張る彼女たちが全力を出し切れるようにずっと応援したい。

文/金城南実  
(経営2年・那覇商業高)

## おわりに

「スポーツをしているときはかっこよく、私生活ではかわいらしく」。これは女子選手の特権だと感じた。体育会系クラブに彼女たちのような女子選手がもっと増えて、大商大の部活動が活発になってほしい。彼女たちは学業と部活動の両立も大丈夫とのこと。



## 我楽多

▼忙しい中、取材を受けてくださるクラブ生の皆さんに感謝しています。あらためて大商大スポーツは一人で作るものではないと感じました。また全クラブの応援に行けないので、今年度はより多くのクラブの応援に行きたいと思っています。体育会本部がより身近なものに感じてもらうよう努力します。(井戸垣恭子)

▼初めてスポーツ記事を担当して、文章の書き方やレイアウト、クラブ生への取材など、やるべきことが多く大変でしたが、中でも取材では緊張してうまく話を引き出せませんでした。次号からはクラブ生と楽しい雰囲気の中で素顔に迫った取材をするのを目標に頑張ります。(金城南実)

▼2面のライフル射撃とボクシングを担当しました。男子選手への取材は砕けた話がありすぎて緊張しました。3年目になり文章を書くことには慣れてきましたが、取材は慣れないことばかりです。応援に行ったり、インタビュー中も、もっとクラブ生の皆さんと打ち解けられるようになりたいです!(和田千咲)

▼今号が私が携わるのは最後になります。初めて担当した記事が女子マネージャー企画でした。そして、最後に女子選手企画を取り上げることができました。体育会系クラブは男子が多いですが、女子が活躍する場を大商大スポーツを通してたくさんの方に知ってもらいたいと思います。(高本菜穂紗)



発行編集 大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室(スポーツセンター)  
印刷 日本ビジネスアート株式会社

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校